

とうもろこしの収穫 最盛期！

あさげ新聞



右の写真は二期分のとうもろこし「甘太郎」四回目の最終収穫の風景

【七月の主な活動】

1. 稲作事業
・土手、畦の草刈り
・穂肥散布
 2. 園芸事業
【野菜栽培】
・野菜苗の灌水
・夏野菜の収穫、包装、出荷
・キャベツ、ジャガイモの収穫
・消毒、追肥、誘引
・インゲン、ブロッコリー、二十日ダイコンの種まき
・二期キュウリの定植
 - 【ほおずき栽培】
・マイカー線の取付け
・消毒、色付け
-
- 【とうもろこし栽培】
・株間、畝間の除草
・追肥、消毒
・土手の草刈り
・一期、二期とうもろこし収穫
 3. 薬草事業
【センブリ栽培】
・二年草畑の片付け
・一年草の換気裾上げ
 4. 蕁細工事業
・アグリ収穫支援・福縄つくり
・泰草神社しめ縄づくり
・飯田市丘のうえ朝市参加
 5. その他
・飯田市長、勝野町長視察
・リサフルシステム研究視察
・ナノバブルの実験
・...

稲作事業

七月初めに中干しを一、二週間実施しました。根に酸素供給し、反対に土中にあるガス抜きが目的です。それによって根張りが良くなり丈夫な稲ができます。中旬には粒数増加、籾殻肥大、稔実向上の為、穂肥を行いました。



園芸事業

＜野菜栽培＞

六月二十日から道の駅にキュウリの出荷を始めて十日目。キュウリの曲がり気になってきました。慌てて二回目の追肥を行いました。前回はマルチ穴の奥に肥料を手で回し入れましたが、今回は定植用に用意して使用していませんでした。治具を使用してみましたが、苗間に治具を差し込み、レバーを握ると口が開き、上から肥料を流し込みます。立ち作業で効率も上がりました。

【なかなかの優れモノです】



地域共生推進室 発行
【34号】
2023年8月8日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！
mail ;
ta-hara@koaglobal.com

薬草事業



七月六日、新ビニールハウス内に肥料を入れ、トタクターで耕起し、二期のキュウリ定植に向け、畝立てを行いました。

【ハウス内に四畝作りました】



七月十二日、畝にアーチパイプを入れ、ネットを張り、キュウリを九十四本定植しました。

【優しく大切に】



＜とうもろこし栽培＞



七月十二日、一期のとうもろこし「あんみつ姫」の収穫が始まりました。一年ぶりの収穫、選別、計量、出荷でした。まだ握りで、サイズ感覚が合わず、収穫サイズが全体的に小ぶりでした。



薬草事業

今年出荷のセンブリ二年ものが、昨年発生したゼニゴケで、生き残ったセンブリが少なく、比較的生存が多かった畑の奥側に移植し、思い切ったトラクターで畝を潰しました。

【少し気が引けました】



今年播種したセンブリは密に生えています。また所々にゼニゴケ、さび病が発生しています。換気で遮光ネットの裾を上げてありますが、大きな改善には到っていません。対応を佐久支場に問い合わせ中です。



蕁細工事業

＜朝市＞

七月十六日、三連休の真ん中、飯田市の丘の上で、朝市が行われ、多くのブースが出展しました。あさげの里も水引を展示販売しました。



その他

＜視察＞

七月十二日、佐藤飯田市長、勝野町長御一行様が、あさげの里を視察されました。クラインガルデン駐車場に到着後、里山の景観をご覧頂き、耕作放棄地再生の必要性をご認識して頂いたあと、栽培品種のご紹介や蕁細工の現場をご確認頂きました。



＜実験＞

農産物の育苗において、ナノバブルを用いて灌水することで、根の活力がアップし、収穫量の増加が期待出来る。また根が大きくなることで、肥料削減にも繋がるとの話を頂き、ナノバブル発生装置を購入し、実験を開始しました。

